

2022

2

令和4年

フレッシュ

旭川印刷製本工業協同組合

北海道印刷工業組合旭川支部

株式会社 長勢紙業

Special thanks for sponsorship

この広報は従業員にも掲示回覧してください。

事務局 旭川市7条通23丁目 電話0166-31-5581

新年交礼会中止に

1月に予定していた新年交礼会は新型コロナまん延防止措置に則り延期しましたが、感染が急速に広がり、終息状況を見通せません。そのため今年の新年交礼会は残念ながら中止いたします。

会費をお預かりしている方には会費をお返しいたします。

新型コロナウイルス鎮まらず、街は沈んでいますが、事業所では経営者が沈んでしまうわけにはいかないのので、なんとか乗り切っていきましょう。

フレッシュ新年号発行

フレッシュ新年号は新年交礼会に合わせて発行していますが、予定通り1月に発行、会員ほか各位に送付いたしました。

POD活用勉強会中止

セールス部会で2月18日に予定していたPOD活用の勉強会は新型コロナまん延防止措置により中止しました。

インボイス制度、来年10月から

インボイス制度は消費税を確実に納めさせる為の制度改正と思います。インボイス登録していないと消費税を預かることができませんし、購入分の消費税はそのまま経費になってしまいます。

発注や購入をする側は個別に消費税額を記帳しなければならなくなります。詳細は税理士にご相談ください。組合でも勉強会を計画します。

JAF Mateが季刊化—脱炭素を理由に

「JAF Mate」は車の情報をはじめ、交通安全、観光など幅広い情報を掲載して年10回会員向けに発行しています。JAF(日本自動車連盟)の会員数は家族会員を除くと約1400万名ですので、これを季刊(年4回)に減らすと大幅な経費削減となりますが、この理由が経費節減ではなく、脱炭素だと言っています。

第一に森林資源の保護(用紙の削減)

第二にVOC排出抑制(印刷量の削減)

第三に配送回数の削減

第四に廃棄物削減

季刊化によってCO₂を約24000トン削減し、これは杉の木174万本が吸収するCO₂量に該当するという。

計算方法はよくわかりませんが、こうした理由付けが前面に出てくるというのに驚きました。経費節減のため請求書郵送をやめてインターネットで補完するのは多くなってきましたが、会報をこうやって削減するのはこれから追隨する企業が増えるかもしれません。

ダイヤモンド誌によるとCO₂対策で経営危機に陥る可能性がある企業に製紙メーカーが名を連ねています。製紙メーカーは値上げ理由に脱炭素を掲げています。

これからの経営指針はこうなっていくのでしょうか。脱炭素や森林認証、VOC対策をきちんとしていない印刷工場が排除されるのを想像すると頭痛がします。

<事務局日誌>

1月21日 新年交礼会(延期、中止)

2月2日~4日 PAGE2022(東京)

2月 9日 第9回理事会(中止)

2月10日 北印工組三役会(Zoom)

<予定>

3月 4日 北印工組理事会

3月 4日 北印工組下期地区協議会

3月 9日 第9回理事会(予定、まん防延長時延期)

3月11日 全印工連組織共済委員会(大阪)

